



林 さえこの 柏市議会 Report

No. 45

発行:2026.10.15

柏市議会議員
林 さえこ

お問い合わせ:

林 さえこ事務所&

市民ネットワーク・かしわ

〈事務局:水・金 10:00~14:00〉

〒277-0863 柏市豊四季 631-16

TEL:080-7628-7737

プロフィール
SNSは
こちらから



9/14(月) 2026年第3回定例会 林 さえこ一般質問項目

- 冠水危険箇所の見える化を
- 周年行事費の PTA 負担
- 放置される要望書
- コロナ禍の看護師未配置問題
- 大規模校に見られる課題
- 市の工事発注と熱中症対策
- 柏中学校区義務教育学校
- なくしてもいい? 近隣センターの調理室
- PTA の任意性確保
- 水道下水道の民間委託の範囲

定例会が9月2日(水)から10月2日(金)まで行われました。

本会議の録画は柏市のHPで見ることができます。



※「一般質問」は市の事務の執行状況の報告や計画について市長や担当部長に質疑し、市民のための適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

調理室はいらない?

近隣センターの改修計画

柏市には、地域コミュニティや行政サービス、防災の拠点として23の近隣センターがあります。今後はコミュニティエリア(中学校区相当)ごとに1施設を維持していく方針です。

2016年に建てられた手賀近隣センターなど、比較的新しい施設もありますが、多くが築40年を超え、改修が必要な時期に差し掛かっています。2026年度は増尾近隣センターや西原近隣センターの修繕工事と、光ヶ丘近隣センターや藤心近隣センターの改修設計が予定されています。また、これまでなかった柏の葉地域に新しい近隣センターをつくる計画も始まりました。

調理機能の軽視

これまでの改修事業や計画では、利用率の低い調理室は廃止、縮小されていく傾向にあります。市民が利用しやすくなることは重要なので、増尾近隣センターの改修計画のようにシステムキッチン併設した多目的室への変更は理解できます。しかし、調理室のみならず調理機能自体をなくしてしまう西原近隣センターの改修計画には懸念が残ります。

世界中の文化の中に、人々が食事を共にしながら地域のつながりを育んできた歴史があります。現代では孤食が増加し、社会的孤立が問題になっていますが、一方で“子ども食堂”など「共に食すること」を中心とした居場所づくりが広がっています。年齢や性別に関係なくコミュニティづくりの架け橋となる食や調理を、地域コミュニティの拠点である近隣センターでも重視すべきです。

防災と調理

防災面も気になります。大規模災害の場合、建設型の応急仮設住宅への最初の入居は早くても1か月、多くの避難者の全ての必要戸数が完成するまでには半年から1年前後かかると言われています。

しかし、柏市防災計画には炊き出しについての記載はほとんどなく、避難所に指定されている公共施設の調理機能についても、量的・質的にどう確保するのか、特に位置付けられていません。

行政の防災備蓄品、自衛隊やボランティア団体の炊き出し、キッチンカー団体との協定など、様々な準備がされていますが、外からの支援だけでは長期間の避難生活を支えることはできないでしょう。

「避難者自らが煮炊きできる環境を整える」という視点が、柏市の防災施策では軽視されているような気がしてなりません。引き続き取り上げていこうと考えています。



キッチンが併設されている
「パレット柏」多目的スペースA

出典: 柏市文化交流複合施設「パレット柏」公式サイト

身近な地域が“被災地”に

8月13日から14日にかけて千葉県に多くの被害をもたらした千葉豪雨は、死者13名、行方不明者1名、家屋全壊3棟、半壊302棟、床上浸水2179棟、床下浸水1960棟に上る大災害になりました。

柏市では、13日夕方の降り始めから翌朝までの積算雨量が298.0mmでした。日本の年間降水量の平均の約1/6に相当する大量の雨です。また、最大雨量は92.0mm/hを観測しました。

下水道や側溝が処理できる雨量は一般的に50mm/hと言われています。排水が追いつかず水があふれ出すことを内水氾濫と言いますが、千葉豪雨は内水氾濫によって多くの道路冠水や家屋の浸水が起こり、被害が拡大した典型的な都市型水害でした。

千葉豪雨による柏市の被害状況

出典：柏市公式サイト

被害内訳	件数	備考
人的被害	7名	死亡1、中等症1、軽症者5
救助者	34名	
土砂災害	2件	崖崩れ
住家被害	312件	床上浸水175件・床下浸水109件・その他28件
道路・橋梁被害	219件	
その他被害	327件	非住家被害含む
市施設被害	49件	
ライフライン被害	29件	
河川など水害	34件	
通行止め件数	市道9件 (県道5件)	土砂災害のため2件 道路冠水のため3件 被災車両のため3件 ライフライン破損のため1件
市道放置車両台数	31台	
避難所利用者数	57世帯96人	近隣センター17か所 (1か所途中で閉鎖)
一時滞在施設利用者数	35人	1か所(パレット柏)

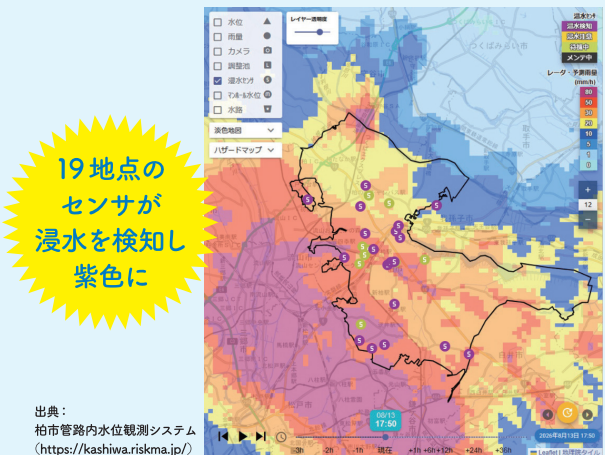
冠水・浸水が次々と

柏市管路内水位観測システム RisKma(リスクマ)は、過去に被害のあった地域など市内複数箇所に水位計やカメラを設置していて、リアルタイムで観測データと画像を確認することができます。

8月13日は13時頃から雨が降り出し、14時頃から浸水があったようです。14:40には28ある浸水センサのうち6地点で浸水が検知されていました。16時頃からはどんどん浸水箇所が増え、17:50には最大となる19地点で浸水を検知。このような状況はしばらく続き、19:00の時点でも18地点で浸水。全てのセンサから浸水の検知がなくなったのは日付が変わった後でした。マンホール20か所に設置されている水位計も、17:30が最大で11地点が危険水位と検知していました。

RisKmaの水位計がないところでも道路冠水や家屋の被害は数多く発生しました。高柳地区の住宅街の浸水被害が特にひどかったと聞いています。

8月13日17:50の柏市の浸水状況



千葉豪雨による
酒井根地域の道路冠水

冠水と車の故障

柏市の人的被害は死亡1名、中軽症者5名と報告されています。八幡町の住宅街では13日夕方、冠水した道路で水没した軽乗用車内から男女2人が救出されましたが、女性は心肺停止の状態で搬送され、死亡が確認されました。市道の道路冠水によって31台の車両が故障し、立ち往生したと聞いています。

私の自宅の周辺道路も冠水し、故障した車が1台、道路を塞ぐ状態が2日ほど続きました。その道路にすり鉢状になっている部分があることを私は知っていましたが、一見、高低差は小さいため、抜け道として使う運転者には、危険な深さの冠水に見えなかったのでしょうか。しかし、30cm程度の冠水で車は故障します。冠水しやすい場所を事前に把握しておくことが重要です。

冠水危険箇所の見える化

柏市では内水ハザードマップを公開していますが、ハザードマップは詳細で情報量が多いため、運転者がどの道路に気を付けるべきか簡単に確認するという目的には向きません。国土交通省は道路冠水注意箇所マップを作製していますが、国道などの大きな道路しか対応していないため、市民が日常的に利用する生活道路の情報は載っていません。

今回の議会では、これまでの被害箇所や冠水危険箇所を地図上にプロットし、注意が必要な道路を“見える化”してほしいと求めました。市からも、「情報をマップに記載し、分かりやすく市民や関係機関に伝えるようにしたい。また、柏市管路内水位観測システム RisKma で、アンダーパスなど浸水リスクの高い場所の冠水状況や通行状況を表示できないか検討する。」という前向きな答弁がありました。



予防的な通行規制

アンダーパスの冠水による人的被害が発生したことから、国土交通省は8月末、都道府県及び市町村へ事前通行規制の導入や車両進入防止対策の強化を求める通知を発出し、9月には全国22か所で予防的な事前通行規制を導入すると公表しました。

柏市では予防的な通行規制についてはまだ検討中とのことですが、9月7日深夜から大雨になるとの気象情報を受け、レベル4大雨危険警報が発生した時点で市内アンダーパス7か所と死亡事故が発生した八幡町の計8か所で予防的通行規制を行うため準備をしたと聞いています。

9月21日に台風25号が通過した際には多くの場所で冠水が発生し、市道10か所、県道5か所の計15か所で順次、緊急通行止めの規制が敷かれました。しかし、道路冠水によって故障した放置車両は市道だけでも3台ありました。

どの時点でどの場所を対象とするのか判断が難しい問題ですが、予防的な事前通行規制を行う必要性を感じます。

自分の命を守る

気候変動で豪雨災害は増えています。今後も減ることはないでしょう。行政の防災施策を進めることも重要ですが、私たちひとりひとりが自分の命を守る行動を取らなければなりません。

車は水没時に閉じ込められるリスクがあります。大雨の予報の際には、危険が予想される地域の方は早めに避難すること、大雨の間はできる限り外出をしないこと、帰宅中などでも避難所や一時滞在施設を利用し動かないこと。これらをまず徹底しましょう。そして、運転者は事前に冠水しやすい場所をチェックし、水深が分からない場所には決して進入せず、引き返す決断をしてほしいと心から願います。

要望書のゆくえ

市議会への請願

公共施設や道路、教育や保育のこと、皆さんが普段関わる柏市の行政サービスについて、困っていること、改善をしてほしいことなどがある場合、どうしますか？

市民が要望を出す先は大きく分けて2種類です。行政としての柏市、つまり市長を筆頭とする職員側に出す要望書と、行政のチェック機関である市議会に出す請願・陳情です。

柏市議会への陳情は議員に配布されるだけですが、手続きに則って提出された請願は議会の中で審査されます。

審査過程も採決も公開されていますし、請願者には結果が通知されます。提出には紹介議員のサインが必要ですが、手続きは明確で確実に議論の場に出されます。

行政への要望書

しかし、市民団体などが行政としての柏市に提出する要望書は、その受け付けや対応について統一的なルールがありません。市長にあてた要望書を秘書課で受け取った場合や、広報広聴課で受け取った場合は、内容によって担当部署に振り分けられているようです。

が、対応や回答については各部署に任せられ、その後のような取り扱いになるのか担保されません。

ましてや担当部署に直接届けられた要望書は、どのような扱いをされているのか疑問です。回答を求めることを明記していなければ、どこの部署でも回答していないことが多いようで、担当部署が要望を少しでも検討したのか放置しているのか、提出者にもわかりません。

放置は許さない

前議会、同じ会派の若狭議員の質問の中で、柏ビレ

ジ近隣センターの存続を求める市民団体からの要望書が、担当部署で2年間も放置されていた現状が明らかにされました。

行政が要望書を受け取った時には、すぐに返答ができない内容であっても、どの部署が担当していつまでに検討するのかについては明確にし、一定期間の後に何らかの回答をすべきです。提出に必要な要項を定め、受け取った後のフローを統一し、回答までを一連の流れとして管理してほしいと求めましたが、良い答弁はありませんでした。この問題は引き続き取り上げていこうと思います。

PTA と周年行事

“任意” 加入？

PTA は独立した社会教育団体です。かつては子どもの入学と同時に自動的に全家庭を加入させる運営が横行していましたが、現在では是正されつつあります。

市内小中学校の PTA の会則に入退会規定が設けられているか定期的にチェックしていますが、少しずつ改善されているのは確かなようです。しかし、会則からは未だ強制加入状態が疑われる学校も多いことを残念に思います。

教育委員会は毎年「PTA 運営のポイント」というチラシを各校に配布するなど一定の働き掛けをしているようですが、担当課は会則しか見ていないため、実態の把握が不十分です。会則だけではなく実態としても強制加入状態であれば、少し踏み込んだ助言も必要ではないでしょうか。

周年行事費は PTA 任せ

共働きの前提の現代、PTA 活動は合理的に人的負担や経済的負担を減らし、会員が主体的に楽しく活動できることが理想と考えていますが、その中で気になるのは周年行事費の負担です。

開校〇〇周年記念行事を盛大に行う際、100 万円以上の費用が掛かることは珍しくありませんが、このうち現在、柏市教育委員会が補助するのは記念誌作成費のみで、それ以外の費用は PTA 会費の積立金から支出されている場合が多いようです。

しかし、学習指導要領には、学校の儀式的行事の一つとして開校記念に関する行事が明示されています。つまり、周年行事は教育活動の一環として行われているのに、掛かる費用は公費ではなく、独立した社会教育団体である PTA の会費を頼っている状況です。

記念誌作成費の補助

唯一公費で支出される記念誌作成費の補助も不思議な金額設定です。児童数 1000 人を超えるような大規模校でも、100 人未満の小規模校でも、同じ金額設定です。大規模校は PTA の予算も大きいので、PTA 予算に頼れば賄えるのですが、それでよいのでしょうか。

現在は多くの学校が PTA 活動のあり方を見直し、活動の効率化や縮小はもちろん、PTA 組織そのものがなくなった学校もあります。教育の一環として行うのであれば、周年行事自体のあり方を各校任せにせず、PTA に過剰な負担が掛からないように教育委員会が見直すべきだと求めました。

ある小学校の 30 周年記念行事会計報告

収入		
項目	決算額 (円)	備考
PTA 周年行事積立金	1,837,746	
柏市記念誌作成補助金	300,000	30 周年事業は 30 万円
柏市記念品補助金	196,875	*現在は補助金なし
観覧料	271,600	
合計	2,606,221	

支出		
項目	決算額 (円)	備考
記念誌	900,000	
式典	104,862	案内状・式次印刷、生花など
記念事業	646,505	観劇・課外事業等の開催
記念品	699,146	フォトフレーム・紅白饅頭等
予備費	57,639	写真提供者お礼・文具他
繰入金	198,069	残額を後年度の周年行事積立金に
合計	2,606,221	

出典：柏市立 A 小学校 PTA 総会資料

柏市記念誌作成補助金の上限額

基本 10 年ごと	10 万円
30 周年	30 万円
50 周年	50 万円
100 周年	100 万円
150 周年	50 万円
200 周年	100 万円

出典：柏市担当部署資料

編集後記

議会は概ね 3 月 / 6 月 / 9 月 / 12 月に行われています。3 月は次年度の予算審査、9 月は前年度の決算審査が行われるので、議案のボリュームが大きく、終わるといつも疲れ切っています。(笑)

9 月議会は会期日程も長く、10 月初めにやっと終わったと思ったら 11 月末に始まる次の議会はすぐそこ。間にこの Report を作成して駆で配布し、委員会視察や学習会に参加しているうちに、あっという間に 12 月議会になります。

こんな 3 か月サイクルを、もう 45 回も繰り返したんですね。議員生活は 12 年目に入りました。



LINE 相談・おはなし会

柏市へのご要望、暮らしの困りごとなど、公式 LINE にてお気軽にご相談ください。議会報告会やおはなし会も開催いたします。ご希望の方はお問い合わせください。

